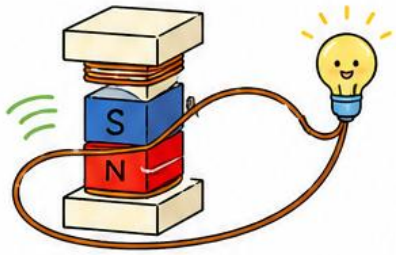
電気をつくろう！

関西電力 power with heart

関西電力㈱京都支社

電気って、どうやってできるの？

① 磁石をくるくる回すと、電気ができるよ！



コイル（電線をぐるぐる巻いたもの）の中で、磁石をくるくる回すと、電気が生まれます。

コイル ＋ 磁石 ＋ くるくる回す → 電気！

もっとたくさん電気をつくるには…

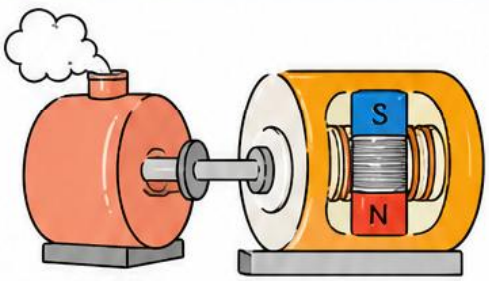
磁石を速く回す！



コイルをたくさん巻く！



② 発電所では、どうやって磁石を回すの？



タービン（大きな羽根車）　発電機（はつでんき）

発電所は、まずタービン（大きな羽根車）を回します。
そのタービンと発電機は、棒（軸）でつながっています。

① 蒸気などの力で、タービンがくるくる！

② タービンといっしょに、磁石もくるくる！

③ コイルの中で磁石が回って、電気ができる！



つまり発電所は、「何かの力で、磁石をくるくる回している」んだね！

③ タービンを回す力はいろいろ！

水の力



流れる水で水車を回します。

↓

水力発電

蒸気の力



熱でつくった蒸気でタービンを回します。

↓

火力発電・原子力発電

風の力



風で大きな風車を回します。

↓

風力発電



水・蒸気・風。使う力はちがっても、“くるくる回して電気をつくる”のは同じ！

